

**製品名: CLN6 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09058**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	40kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CLN6
別名	CLN6; Ceroid-lipofuscinosis neuronal protein 6; Protein CLN6
遺伝子 ID	54982.0
SwissProt ID	Q9NWW5
免疫原	抗血清はヒト CLN6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 221-270

**背景**

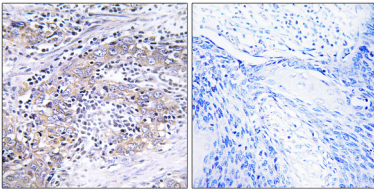
この遺伝子は、神経性セロイドリポフスチノーシス（NCL）と関連付けられている 8 つの遺伝子のうちの 1 つです。バットン病とも呼ばれる NCL は、小児に発症する常染色体劣性神経変性疾患の一種です。原因遺伝子は、リソソーム内で翻訳後修飾を受けたタンパ

ク質の分解に関与するタンパク質をコードすると考えられます。NCL 疾患における主要な欠陥は、リソソーム貯蔵機能に関連していると考えられています。[RefSeq 提供、2008 年 10 月],疾患: CLN6 の欠陥は、変異型遅発性乳児神経性セロイドリポフスチノーシス (vLINCL) [MIM:601780]の原因です。 ,オンライン情報: 神経性セロイドリポフスチノーシス変異データベース

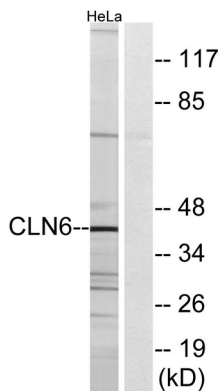
## 研究分野

-

## 画像データ



CLN6 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



CLN6 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。